

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134005	事務事業名	図書館管理運営事業			
担当部・課名	中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	地域の読書活動・生涯学習活動を推進・支援することで、利用者の満足度が向上し、利用者増加が図られる。
事業の内容(手段)	市内6館の円滑な運営(指定管理によるものを含む) お話し会など各種行事の運営 関係部局とのコラボ企画の実施		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
館外貸出利用者延べ数(個人)	館外貸出利用者延べ数(移動図書館除く)		人	28年度	210,000	240,000	380,000
				29年度	204,011	228,798	
				30年度	97.1%	95.3%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
			直接事業費	千円	67,367	86,953	164,843
(予算額)	うち一財	千円	67,041	84,483	153,555	156,008	156,853
(決算額)	直接事業費	千円	65,144	84,300		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	64,929	80,527		消費税率改正 修繕料の増	消費税率改正
	正職員人件費	千円	51,655	55,997			
	人工数	人	7.05	7.60	6.55		
	支出コスト	千円	決) 116,799	決) 140,297			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	自家用車利用の増加による駐車場不足システム(インターネット)の利用により、利用者の利便性は格段に向上し、インターネット利用による予約が増えてきているなか、その対応は人的作業となるため、事務量が増加している。徳山駅前図書館開館に伴う館外貸出要件の拡大、資料の相互利用の大幅増加。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 事務量が増大し、人材が手薄であり、特に司書資格を有する職員が少ないため、的確な人的サービスの提供、またそれに対応できる人材の育成・職員配置が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校図書館との連携を密にし、小中学生の間に、本に親しむ習慣を身に付けてもらうことにより、児童・生徒だけでなく、家族も含めた図書館利用者の増加を目指す。徳山駅前図書館開館により、市民の間にも図書館への関心が高まっていることから、相乗効果としての利用者増を図る。	評価責任者コメント	学校図書館との連携を充実し、学校図書館の活性化を図るとともに、読書習慣のある児童・生徒の増加につなげていただきたい。また、徳山駅前図書館の開館を起爆剤に、市内図書館全体の利用者増へ繋げるよう努められたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
図書館サービスの向上と読書活動の推進を図るために、市内6館の連携を深め、円滑な図書館運営と利用しやすい図書館づくりに努める。 また、家庭での「うちどく」の奨励や学校図書館との連携の強化を図るとともに、計画初年度となる「第三次周南市子供読書活動推進計画」の推進を図る。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	図書館普及啓発事業	図書館の環境を整備する(ハード面・ソフト面)ことにより、図書館に対する関心を高めるとともに、利用しやすい読書環境づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設管理、予算管理</li> <li>館内整理(展示、コラボ企画)</li> <li>各種行事運営</li> </ul>	25,080	3.40	2.35	
				否			
②	カウンター業務	利用者に対して適切・正確なサービスを提供することにより、利用者の満足度を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンター業務(貸出、返却、レファレンス業務、予約管理)</li> <li>配架、書架整理</li> </ul>	45,947	2.50	16.80	
				否			
③	図書館ブックリサイクル事業	不用図書を提供することにより、読書への関心を高めるとともに、資源の有効利用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>除籍処理</li> <li>整理、提供</li> </ul>	6,051	0.80	0.65	
				否			
④	閉架書庫の整理	限りあるスペースの中で効率的に資料を管理するために、閉架書庫を設け、適切な資料の管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>配架、書庫整理</li> </ul>	7,222	0.90	1.00	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134014	事務事業名	図書館資料購入事業			
担当部・課名	中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	利用者の多様化するニーズに対する的確に応え、利用者の満足度を向上させる。
事業の内容(手段)	計画的な図書館資料の購入		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
資料購入点数		5館(徳山駅前図書館を除く)の図書、AV、逐次刊行物等の購入点数	点	目標値	20,000	20,000	20,000
				実績値	20,144	19,982	
				達成度(%)	100.7%	99.9%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	35,313	34,313	44,313	34,640	34,947
(予算額)	うち一財	千円	34,237	34,247	34,247	34,578	34,881
直接事業費	千円	35,213	34,199		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	34,175	34,135		ふるさと周南応援基金繰入金の減	
正職員人件費	千円	12,090	10,684				
人工数	人	1.65	1.45	1.40			
支出コスト	千円	決) 47,303	決) 44,883				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	図書以外の資料(AV、電子書籍)の刊行、要望の増加		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 資料について熟知した司書(的確にサービスを提供できるスペシャリスト)の育成が不可欠である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	利用者の多様化するニーズに的確に対応するために、新鮮かつ広範囲にわたる資料を収集し、歴史や文化等に関する郷土資料の収集保存や情報提供及び人材育成に努める。		評価責任者コメント	利用者のニーズに応えるべく、多様な図書資料等の収集・保存・提供に、引き続き計画的に取り組まいたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
各館の独自の特長を活かしつつ、利用者にも満足いただけるように、様々な視点から総合的な資料の充実に努める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	図書館資料(一般・児童)の選書・収集	新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、一般向け・児童向けのコーナーの充実を図る。	・資料の選書、受入 ・資料に関する情報収集	16,751	0.70	2.05	
				否			
②	郷土資料の選書・収集	歴史や文化等に関する地域資料を収集し、高度なレファレンスにも対応できるようにする。	・資料の選書、受入 ・資料に関する情報収集(郷土紙関係の情報)	5,191	0.25	0.50	
				否			
③	資料の発注・受入・整理	収集した資料を、正確に管理できるようにするとともに、利用しやすくする。	・資料の発注、受入、装備	12,257	0.50	1.55	
				否			
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134026	事務事業名	移動図書館運営事業			
担当部・課名	中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	図書館サービスの地域間格差の是正・均等化を図る。
事業の内容(手段)	移動図書館車による地域への巡回 学校(小規模校)への乗り入れ やまびこ号 平成22年7月更新 やまびこ号ジュニア 平成7年5月導入		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
館外貸出利用者延べ数(移動図書館個人)		やまびこ号、やまびこ号ジュニア巡回における館外貸出利用者延べ数	人	目標値	4,900	4,900	4,900
				実績値	4,916	4,344	
				達成度(%)	100.3%	88.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	5,840	4,140	4,137	3,991
	うち一財	千円	5,840	4,140	4,137	3,991	4,217
(決算額)	直接事業費	千円	5,693	3,940		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	5,693	3,940			
	正職員人件費	千円	4,030	6,263			
	人工数	人	0.55	0.85	0.85		
	支出コスト	千円	決) 9,723	決) 10,203			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	周辺地区の人口減少、高齢化により、利用者自体減少傾向にある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 利用者の減少
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	図書館から遠隔地に住む市民を対象にサービスを進める。特に、お年寄り、児童など交通弱者に対するサービスの充実に努める。	評価責任者コメント	移動図書館のサービスを必要としている人にサービスが提供できるよう、継続的に取り組むとともに、利用者増に向けた対策を講じられたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
お年寄り、児童など交通弱者に対するサービスの充実が図れるよう巡回ステーションの増設を検討する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	移動図書館車の整備	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・移動図書館車の安全運行に係る管理、整備	147	0.00	0.20	
				否			
②	移動図書館資料の選書	移動図書館車利用者に対して、新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、利用者の満足度を高める。	・資料の選書、受入 ・利用者ニーズの把握	1,060	0.30	0.15	
				否			
③	移動図書館車「やまびこ号」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・徳山、新南陽、熊本地区の巡回 ・小規模校への乗り入れ	2,306	0.45	1.20	
				否			
④	移動図書館車「やまびこ号ジュニア」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・大津島地区の巡回	427	0.10	0.15	
				否			

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134029	事務事業名	図書館システム管理運営事業			
担当部・課名	中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	資料・利用者の迅速・正確な管理、サービスの向上を図る。
事業の内容(手段)	図書館システムの活用により、市立図書館全館の資料管理、利用者管理、資料貸出・返却事務等を迅速かつ正確に処理し、さらにインターネットの活用により利用者への情報提供や、資料検索・予約等が館内外を問わず24時間可能となる。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
予約・リクエスト資料数		利用者からの予約・リクエストを受け付けた資料数	件		105,000	105,000	101,000
					101,593	103,842	
					96.8%	98.9%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	13,117	16,925	37,781	38,298	38,481
(予算額)	うち一財	千円	13,117	16,925	37,781	38,298	38,481
(決算額)	直接事業費	千円	12,855	17,053		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	12,855	17,053			
	正職員人件費	千円	5,495	5,894			
	人工数	人	0.75	0.80	0.70		
	支出コスト	千円	決) 18,350	決) 22,947			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	システムの活用は、図書館運営に欠くことができないものとなっている。また、さらなる業務の効率化、利用者の利便性向上が期待できるICタグシステムを徳山駅前図書館に導入した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 利用者の利便性向上については大いに資しているが、その対応のため、本来であれば省力化が期待できるところであるが、かえって事務量が增大してしまう側面がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	インターネットからの予約も年々増加しており、利用者の利便性は向上している。徳山駅前図書館にはICタグシステムを導入した。既存システムは2020年1月までのリースとなっているが、徳山駅前図書館開館に伴い追加したシステムは2025年1月までのリースとなっているので、2020年2月の切り替えの際は、2025年1月までのリースとして、その後一斉にシステムを切り替えたい。	評価責任者コメント	平成31年度のシステム更新に向け、機器構成の検討やデータセンターの活用などの情報収集に努められたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
図書館システムの更新を行う。また、3種類ある蔵書検索サイトのうち、スマートフォン用のサイトのPRを重点的に行い、資料の予約・検索・メール通知等の便利な機能の周知を図ることにより、利用者の利便性の向上に努める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	システム管理全般	資料および利用者の迅速かつ正確な管理を行う。	・システムの正常な運用 ・ホームページ管理 ・徳山駅前図書館新設に伴うシステムの整備・運用	17,053 否	0.80	1.40	
②							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134034	事務事業名	徳山駅前図書館開館準備事業			
担当部・課名	中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民	事業の目的(意図)	中心市街地活性化の一翼を担うべく設置される、徳山駅前賑わい交流施設の核施設である徳山駅前図書館の開館の準備を行う。
事業の内容(手段)	開館準備に関する業務委託(資料整備、備品整備、広報、施設維持等)		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					開館時資料総数	徳山駅前図書館開館時の所蔵資料総数	点
				実績値	—	61,857	
				達成度(%)	—	103.1%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	—	255,000	—	—	—
(予算額)	うち一財	千円	—	255,000	—	—	
直接事業費	千円	—	244,994		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	—	244,994			
正職員人件費	千円	—	8,842				
	人工数	人	—	1.20	—		
支出コスト	千円	—		決) 253,836			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	D	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	徳山駅前図書館開館に伴い、事業終了		評価責任者コメント 徳山駅前図書館は、予定通り開館し、予想を上回る来館者で好調なスタートをきった。今後は、指定管理者や他館と密に連携を取りながら、円滑な運営に取り組まれない。また、まちの賑わいの創出の一翼も担うことから、まちとの連携も深めていっていただきたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	徳山駅前図書館開館準備事業	徳山駅前図書館を整備することにより、「新たな徳山駅ビル整備基本構想」に掲げる3つのコンセプトの実現を目指します。	・平成30年2月の徳山駅前図書館開館に向けた準備	244,994	1.20		
				可			
②							